令和６年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
林産部門

認証森林での高密度路網と車両系林業機械の活用による高収益な林業経営

〇氏名又は名称　山田　芳朗

〇所　　在　　地　静岡県静岡市

〇出　　品　　財　経営（林業経営）

〇受　賞　理　由

・地域の概要

静岡市は、面積の76％を森林が占め、民有林の44％が人工林となっている。市では森林整備を通じて供給される地域材の利用を促進するため、公共建築物の木造化、木質化を進めるなど、持続可能な森林経営の取組を進めている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

山田氏は、157ha の森林を所有しており、うち 152ha については地域の森林所有者と共同で森林経営計画を作成し、林業経営を行っている。高収益な林業経営を目指し、積極的に作業道を開設し、その充実した路網において車両系林業機械を利用した間伐を行い、年平均 690m^3 の柱材を主とした良質な木材を生産している。

・受賞者の特色

平成５年、近隣の林家との協業体を立ち上げて、グラップルやフォワーダの共同利用を推進してきた。作業道を積極的に開設し、開設にあたっては、切土高を低く抑え、こまめな排水処理により壊れにくい道となるよう工夫している。115m/ha の高密度路網に車両系の高性能林業機械を投入し、林業収支がプラスとなる経営を続けている。

林業研究グループにおいて、森林認証部会を立ち上げ、平成 17 年にすべての自己所有林を含むグループの所有林で森林認証を取得した。森林管理認証基準に基づいた森林管理方針書の作成、認証林において森林施業や教育研修、巡視、森林被害の調査等を定期的に実施し、収益を確保しつつ持続可能な林業経営を確立している。

・普及性と今後の発展方向

森林認証制度については、静岡市の林業家、製材所、建築士で組織する「しずおか森と学ぶ家づくりの会」等と連携し、産業フェアしずおか等のイベントでの普及活動に取り組んでいる。

また、指導林家として若手の林業家や林業従事者の技術力の向上に取り組むほか、県環境学習指導員として地元小学校を中心に森林教室の講師を務めるなどの活動にも取り組んでいる。

今後は、面的なまとまりを重視した施業を行うため、隣接する森林所有者に対する施業委託の働きかけを行い、また、条件が合えば山林を購入し、経営面積を拡大する予定である。